

平成30年度 第2回千葉市青少年センター運営審議会議事録

1 日 時

平成31年3月22日（金） 13:30～14:30

2 場 所

千葉市南部青少年センター 2階 会議室

3 出席者

（委 員）

佐々木会長、迎副会長、池田委員、坂本委員、西田委員、星島委員、
西村委員、中村委員、遠藤委員

（事務局）

井谷所長、椎名所長補佐、川崎主任技師、西森主査（生涯学習振興課）

4 議 題

- （1）平成31年度運営方針及び重点目標について
- （2）平成31年度事業計画（案）について
- （3）平成30年度ゆめチャレンジについて
- （4）その他

5 議事の概要

- （1）平成31年度施設運営方針及び重点目標について
施設運営方針及び重点目標を説明し、承認された。
- （2）平成31年度事業計画（案）について
主催事業の実施内容等について説明し、承認された。
- （3）平成30年度ゆめチャレンジについて
ゆめチャレンジ開催状況について報告した。

6 会議経過

(1) 平成31年度運営方針及び重点目標について

井谷所長より、資料1～3ページ、施設の特徴、平成31年度施設の運営方針、施設運営の重点目標について説明した。

(佐々木会長)

平成31年度の施設の運営方針、施設運営の重点目標について説明があったが、意見質問あるか。

特になし。

(佐々木会長)

運営方針及び重点目標について、承認される方は挙手を。

【全員一致で承認された。】

(2) 平成31年度事業計画について

井谷所長より、資料4～5ページ、平成31年度事業計画について説明した。

川崎主任技師より、資料5～6ページ、施設の維持管理予定について説明した。

(佐々木会長)

新年度の講座等事業計画について説明があったが意見質問あるか。

(中村委員)

事業計画は昨年度より充実したものになっていると思う。ときめきサタディの「小学生のためのアンガーマネジメント」についてだが、今年度開催した講演会「子育てに役立つアンガーマネジメント」が、市民に評判が良かったということで、それを小中学生に取り入れていこうという方向性が時代のニーズにも合っていて、男女共同参画センターとの共催によりこういった講座を開催してもらえるのは大変ありがたいと思った。

「サマーチャレンジ」、昨年同様三コマということだが、小学生の夏休みには1年から6年生まで自由工作があり、このような取組が参考やヒントとなり、より質の高い自由工作につながってくる。このようなところで学んだことが子どもの学びにつながるのだからこういった取り組みを増やすということは地域の小学校としてありがたいと思う。

わくわくカレッジの「体験してみようパラスポーツボッチャ」だが、2020年開催のオリパラが近づいていて、現在小中学校の体育や総合的な学習の取り組みの中で、オリパラを盛り上げていこうと取り組んでいる。オリンピックは一生に1回のチャンスなので、千葉市が会場になっていることでもありしっかり味あわせてやりたいし楽しませてやりたいと思っている。学校での取り組みだけでは弱いと思っていたところ、このように16歳以上の大人の講座ということで、一番盛り上がる年代だと思うので、こういった年代に向けての取り組みをしていく

ことは、学校としても大変ありがたいと思う。

(迎 委 員)

私もこのボッチャにすごい興味がある。中央区の区民祭りのときに千葉市科学館でそういったブース担当にいた。親子や子ども達が、説明を聞きながらやっていてコートがこの会議室くらいの広さであった。南部青少年センターを会場として20人くらいの講座がどこの部屋でできるのか、用具は借りるということだが、施設面ではどうなのか伺いたい。

中学校でもシッティングバレー、ウィルチェアラグビーバスケット体験を昨年から続けているが、なかなか学校では出来ないことを、こういった施設で、大人の市民に体験してもらうのはとても素晴らしいことだと思う。

(所 長)

40人程度入る講習室を使用し、オリパラ関連の種目で講座がなにかできないかと考え企画しボッチャの講座を進めているところです。

(佐々木会長)

センターの施設で出来るようなかたちで、会場を設定するという事ですね。他の委員にも意見を伺いたい。

(池 田 委 員)

講座を増やし新たな試みを毎年やっているところは素晴らしいと思う。わくわくカレッジの「ハーバリウム入門」は、ハーバリウムが今すごく流行っていて、花屋でもやっているところがあるのでたくさん人が集まると思う。

(西 田 委 員)

ボッチャですが、千葉市に強化選手がいるということを知ったので、そういう方を呼んでみたら、もっと集まるのではないかなという期待感がある。

(所 長)

そういったことも含めて、オリンピックパラリンピック調整課と実現に向けて進めていきたい。参考にさせていただきます。

(西 村 委 員)

学習支援講座の「キッズイングリッシュ」は、小学校2年生が対象なのか。

(所 長)

今年度小学校の英語学習が3年生から始まったので、2年生で英語に触れる機会があればということで開催し好評だった。

(西 村 委 員)

このような取組は、公民館ではない。

(所 長)

小中学校の校長職だった職員が嘱託職員として4名いるので、連携を取りながら、キッズイングリッシュのような講座の企画を検討していきたい。

(西村委員)

連携が取れてこういった講座が開けることは素晴らしいと思う。

(坂本委員)

私の孫も今度2年生なので、こういった英語の講座に行かせたいと思うが、この近辺に住んでいないので通うのが無理かなと思う。講座は土曜日に開催するのか。

(所長)

低学年ということで保護者の送迎で土曜日に開催している。

(坂本委員)

バーバリウムは子供会で行ったことがある。ダイソーとかで買える材料で、水のりに造花を入れることでハーバリウムのようなことが簡単できれいに出来た。子どもを対象の講座で開催するのも良いのではと思った。

(所長)

参考にさせていただきます。

(星島委員)

ボッチャはとても素晴らしい取組だと思った。

子どもたちは学校でオリパラに向けて、スポーツの体験や給食でも関連することを取り入れていて意識が高まっていると思う。大人はなかなか触れる機会がないのでとてもいい取り組みだと思った。

昨年、地域の青少年相談員のイベントで、子どもたちを対象にボッチャを行った。最初は興味がわからないように感じたが、だんだん盛り上がり、最後は大変楽しくやっていた。この講座は大人も楽しめるのではないかと思った。

「小学生のためのアンガーマネジメント」の講座も、今の時代に沿ったとても素晴らしい講座だと思った。

(遠藤委員)

地域の高等学校との連携で高校生が携わっている取組があるが、キッズイングリッシュも市の国際交流協会と連携し行っている。市の国際交流協会は、中学生や高校生を千葉市の交流事業ということで、カナダやアメリカに留学生を派遣していると思う。そのような事を経験した中高生が、こういった活動に入るような場面があるといいのではないかと感じた。

(佐々木会長)

この事業計画について承認される方は挙手を。

【全員一致で承認された。】

(3) 平成30年度ゆめチャレンジについて

井谷所長より、動画でゆめチャレンジの様子を報告し、パワーポイントを使い

アンケート等説明を行った。

詳細については第1回の審議会にかける。

(佐々木会長)

意見質問あるか。

(池田委員)

ゆめチャレンジについてですが、色々な人たちが互いに見合える機会がなく、知らない人が見てくれるのは、一つの発表団体としてありがたいこと。参加者の反省会の中でも、チーム同士で顔なじみになり、参加する人たちの年齢の幅も広いがその中での交流が持て、見に来てくれている人だけでなく、参加者にとっても励みとなり、ゆめチャレンジという発表の場がとても意味のあるものだと感じる。

また、ボランティアの学生も会が進行していく中で、劇に引込み参加をしてもらっていて、色々チャレンジ出来ていいと思う。ボランティアの学生とともに「ゆめチャレンジ」をもっと盛り上げていきたいと思っている。

(佐々木会長)

承認事項ではありませんが、南部青少年センター利用団体としての意見がありました。

(4) その他について

議事録の確定について、会長に承認してもらうことを確認した。